

令和7年度 中学生の「税についての作文」

縁 税 務 署 長 賞

税があるから安心して挑戦できる

横浜市立 谷本中学校 第三学年 池 翠帆



私は中学生三年生で、今は実験勉強と弓道が近いですが部活の面倒に挑戦することあります。勉強や部活が簡単なわけではなく、ときに心が折れそうにならうときもあります。しかし、それでも「挑戦してみた」と思えるのは、私のまわりに安心できる環境が整っているからだと感じました。そして、その安心の背景には「税金」が存在しているのです。

まず私は毎日学校に通い、仲間と共に学んでいます。教科書を広げ、黒板に書かれた文字を追いかけ、疑問を先生に尋ねる事ができます。その一つ一つの学びの場は、税による支えられてくるのです。教科書が無償で配布されると、冷暖房が整った教室で勉強できるひとと、図書館で本を借りたりなど。これらはすべて税金があるから実現しています。もし教科書を自分で買わなければならなかったり、わざわざお金が危険なままだったり安心して学びことはできなかつたと願つます。

また、私は剣道部に所属しています。仲間と支え合いながら大会に挑戦する経験は、私の大切な青春の一部です。中学生一年生の稽古中に足首を痛めて病院に行つたことがあります。診察を受け、レントゲンを撮つても、保険証を出すと負担額は一部で済みました。私は「健康保険制度があるから、安心して病院に行けるのだ」と強く感じました。税によって医

療制度が守られていますから、私は伸び立ち、挑戦を専門でやめました。わいに、私の暮らす地域では、安全を守る多くの仕組みがあります。道路は舗装され夜には街灯が光り、公園には子供たちの笑い声が響きます。消防車や救急車はいつも出動できる体制が整つております。災害が起きたときには避難所が開設されます。むしろ私が懸念する災害への備えもなければ私たちは日常生活に不安を抱え、夢に向かって挑戦する余裕を持てなかつたでしょ。

このように考えると、挑戦には必ず「安心できる環境」が必要であります。環境をつくるのが税金なのです。勉強やスポーツをして将来の夢に挑戦するひとも、税があるから可能になれる部分が多くあります。一見すると挑戦と税は関係ないように見えますが、「税があるから安心が生まれ、安心があるから挑戦できる」というつながりが存在しているのです。これから私は大人になり、働き、税を納める立場になります。そのため、私は「税を納めないと」を義務ではなく「未来の誰かの挑戦を支える行為」として受け止めたいです。

税は、田に見える形で私たちに届けてくれます。しかし、学校で学ぶとき、病院に行くとき、地域で安全に暮らしはじめるに確かに私たちを支えてくれます。そして税金は、正しく活用されることで初めて、私たちを支える力になると考えました。私はこれからも安心を力に変え、挑戦し続ける一人の人間として成長していきたいです。

